



Yonago East Weekly

●創立/1968年4月24日 ●事務所/米子市西福原1-1-55 ホテルサンルート米子 Tel (0859) 32 - 5531
 ●例会日/水曜日12:30~13:30 ●例会場/ホテルサンルート米子市西福原1-1-55 Tel (0859) 33-0911
 ●会長/尾沢三夫 ●幹事/永見吉平 ●会報/伊藤慎哉

出席報告

会員数79名

今週のお祝い

夫人誕生祝: 3日 種田 進君 6日 荒川圭三君
 23日 江原 保君 27日 内田幸男君
 30日 杉本真吾君
結婚記念祝: 2日 野津一成 君 10日 井上博吉 君
 10日 井上雄介君 18日 面谷博紀 君
 24日 長谷川 渉 君

副会長挨拶

皆さんこんにちは。先週は、市議会の本番中で一般質問をいたしました。今は、対面質問になりました。1問1答方式で約1時間のやり取りができます。公務を優先しなければならず、大変失礼をいたしました。例会は、西村先生にお世話になりまして、裁判所の職場訪問でしたが、それぞれに感じることの多い内容であったようです。

併せてその日行われました指名委員会で、小谷年度の中枢の方々を選定していただいたわけですが、クリスマス例会では皆様にご紹介いただけることになっております。

さて今議会で最も注目を浴びましたのは、原発の協定問題です。賛否両論ありましたが、全員協議会で“結ぶ“ということになりました。島根県側と協定内容に差があるために、議論になっておりましたが決定いたしました。

議会改革と議員定数の削減について、市民との懇談会を開きます。5か所の公民館で行われますので、是非お出かけいただきご意見を言ってやってください。

来週は、クリスマス家族会です。過去最高の出席数でご家族とロータリーを味わっていただくということですので、是非多数ご参加ください。私の年度もそこでいよいよ半分、これまでのご協力、本当にありがとうございました。

幹事報告

- 12/21クリスマス家族会(夜間例会)
- 12/18ガバナー・エレクト壮行会(倉敷)
杉原次期ガバナー補佐出席
- 3/3.4 第13回ロータリー国際囲碁大会
(神戸ポートピアホテル)
- 例会の変更のお知らせ
FAXにて案内



おめでとうございます!
 12/10、井上雄介会員
 ご結婚されました



今後の予定

12/28 ・1/4 休会(定款第6条)
 1/25 クラブ協議会
 2/15 5RC合同夜間例会
 (ホテルサンルート米子)



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

Reach within to embrace humanity
 こころの中を見つめよう 博愛をひろめるために

《プログラム》

「米子おかしや会」

米子おかしや会 会長・株式会社みつよし 代表取締役 森廣功 氏



皆さんこんにちは、森廣 と言います。

まず株式会社みつよしですが、菓子職人であった私の父が、同業者の方と協同して昭和48年に作った会社です。当時は高度経済成長でよくお菓子も売れたそうですが、競争も厳しくなってきたので、直売所として昭和58年には「梅花亭本店」が誕生いたしました。その後も高島屋さんに出店するなどいろいろやってきました。平成10年には私が社長に就任いたしました。去年の11月に思いもかけず「米子おかしや会」が誕生しました。

最近はお菓子の種類が大変増えておりまして、また流通も進んで県外からもお菓子が入ってくるようになりました。このデータを見ていただだけでも、和菓子の苦戦の様子がわかんと思います。それに加えて後継者がいないとか、廃業も増えております。

去年の11月に、板見製館と丸京製菓の両社長さんが見えまして、「米子菓子協会がなくなってしまった、やる気のあるもんだけでも集まらんかや」とおっしゃいまして、5社が集まり、私が会長をやることになりました。

子供の頃から生徒会長もやったことがないので務まるか不安でしたが、メンバーがツワモノ揃いでして、またやる気のある連中が多くて月一回の会合を重ねるうちにどんどんメンバーが膨らんでいきました。あっぷるはうすの野坂社長も入ってこられまして、とても良い戦力になっていただいております。現在13社15名、このうち菓子屋はたったの5軒なんです。という米子おかしや会って、なんだか変な会なんです。それがかえてよくて、異業種の方にいろいろな意見、提案をしていただい、良い刺激になっております。発足後月一回の会合を重ねて、業界を盛り上げるために必要なことが少しずつ見えてきました。

まずは、和菓子を良く知ってもらうために「和菓子まつり」のようなものをやろう、和菓子バイキングをやろうということになりました。チケットが500円で1000枚、天満屋でやることになりました。当日は開店前から行列ができるほどの賑わいでして、最初の1時間で300人くらいこられました。お昼頃にはなくなるお菓子も出ました。これを通して案外和菓子って需要があるんだな、と思いました。また若い人が多かったです。それと「スイーツは人を笑顔にする」と、感じました。日頃から甘いもの食べながら喧嘩する人はいないでしょ、と言っていました。お菓子を食べてながら笑顔になっている1000人の人を見て、良いイベントをしたな、と思いました。

それから米子おかしや会で、いろいろなところから声を掛けていただけるようになりました。土日は、イベントで忙しくなりましたが、それらを通じて菓子屋の使命はお菓子売るだけではないと感じられます。文化とか伝統とかお菓子を通して伝えたい、と思っています。

先月は、ホープタウンで第二回和菓子まつりを開催しました。この時は、米子南高校や米子松蔭高校の生徒さんが応援に来て下さりまして、賑やかなイベントになりました。大福パーラーという新しいイベントも好評でした。次回は、来月29日に予定しております。是非お越しください。

米子の銘菓を作ってみたら、という話も出ています。会員も増やしていきたいと思っています。お菓子の文化や歴史も伝えたいと思っています。例えば桜餅ですが、この辺は関東風ですが、もち米を使った道明寺が、西日本では主流です。どうやら江戸時代に松江の殿さまが持ち帰り、当時人が運べる範囲の出雲から倉吉あたりまでに広まったようです。

柏餅は、柏の古い葉が枯れても新芽が出るまで落ちないので、子孫が絶えないというので、縁起をかついで子供の日に食べるようになったそうです。この辺の柏餅は、サルトリバラの葉を使いますが、昔はこの辺に柏の木がなかったということです。

是非、米子おかしや会にご協力いただくという意味で、お菓子食べていただきたいと思ます。食べない方は、お使い物にしてください。飲み屋でもモテますよ。

今後ともよろしく願います。